

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	カルティボ ネクスト		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	12月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本人支援を大切にしており、子ども自身が楽しんで来る事が出来る。また、活動の中でも子ども自身が選択する機会が多い事業所である。	・支援員との関係性を早急に構築することで、本人の気持ちや、困りごとを伝えやすい安心できる環境になるように心がけている。 ・その日の療育スケジュールの中で、本人が選択できる機会が多くなるように取り組んでいる。	・その子の強みを伸ばして将来につなげていけるような支援の強化をしていく。 ・ABAの考え方を取り入れ子どもの行動や変化を支援員間でしっかりと共有し、本人支援を考えていく。
2	・個別支援計画書の説明、またその内容に沿った支援の実施ができています。	・完成した個別支援計画書の説明を行う際にただ読み上げるのではなく具体例を出しながら伝えている。 ・来所前のミーティングを必ず実施し、その日に来所する子どもの個別支援計画書の内容を確認をして支援している。その他気になること等の話し合いも行っている。	・他事業所の個別支援計画や学校の指導計画を参考にした個別支援計画書の作成を行い、子どもにとって統一性のある支援を実施していく。
3	・様々な種類のプログラムを実施している。	・お買い物や推し活など様々な体験や経験を積むことができるように工夫している。 ・プログラム作成にあたっては週1回のミーティングを実施し、内容を検討をしている。年齢にあった参加してみたいと思うものを常にリサーチしている。	・同法人内の事業所との合同プログラムを実施する機会を増やし、固定化された友だちとの関わりだけでなく、幅広い年代や新しいお友だちとの関わりを持てるように工夫をする。 ・子どもから意見をきき汲み取っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の具体的な説明や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	・研修会等の開催はしておらず、情報提供は稀にしていた程度になってしまっていた。	・相談等があった場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法をお伝えすると共に、保護者様が参加できるような外部の研修会など情報を探し、積極的に発信を行う。
2	・保護者会、保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベント等が開催されておらず、閉鎖的になってしまっていた。	・保護者会等は時間的、業務的なところがあり、開催することができていなかった。季節に合わせたイベント(マルシェ、クリスマス会等)は事業所内では実施していたものの、個人情報の観点や職員の配置状況から参加できる形では行っていなかった。	・保護者会等は午前中の子どもが登所していない時間帯を使い、開催を検討していく。
3	・放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の提供が行われていなかった。	・ご利用者の大多数が思春期の子どもである。そのため周りの子どもと自分の違いを繊細に感じ始めたり、事業所に通っていることを知られたくない気持ちがあることも多く、機会を提供していなかった。	・子どもの気持ちを汲み取りつつ、検討していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	カルティボネクト
------	----------

公表日 2025 年 1月 10日

利用児童数 36人

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1	0	1		引き続き学習ルームとブレイルームを使い分けて過ごしやすい環境を提供していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		今後も継続して手厚い支援が出来る様努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	0		引き続き、視覚優位の子どもにより分かりやすく、イラストと文字を用いてを使用していきますが、ご希望に応じて内覧して頂く機会を設けます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		引き続き職員全員でチェックして、清掃していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	0		作業療法士と公認心理師を配置してより専門的に支援が行えるようになりました。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		公表しているプログラムと実施プログラムを合わせるようにしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	0		支援計画に名前が無くても誰の計画かが分かるような個別化された支援計画を作っています。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	0		個別支援計画書はガイドラインに合わせて本人支援・家族支援・移行支援の記載を行っています。支援目標はモニタリングの上、児発管が目標を決めて支援員で話し合って決定しています。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	0		個別支援計画書の内容を子ども達が来所する前の昼食にて再確認し、情報共有を行って支援員全員が意識しながら支援できるようにしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	0		中高生という年代を考慮し、参加したくなるようなプログラムの立案を行っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	3	5		社内の他事業所と合同のプログラムを行い、異年齢での交流が出来る機会をもうけています。地域お買い物体験に出かけています。
保護 者へ の 協 力	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		運営規程、支援プログラム、利用者負担等についてはご契約時に丁寧に説明をするよう心掛けています。またプログラムの実費負担については毎月の予定用やお便りを通して事前に知らせています。
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		今後もわかりやすい説明を心がけていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	7		事業所からペアトシのファシリテーターとして参加し学んできているところです。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	1	0	0		日々の様子を写真付き連絡帳でお伝えしています。また、特段なにかがあった時には別でお伝えしています。今後も引き続き、保護者の方と連携をとって支援していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	1		定期的なモニタリングに加え、ご希望があれば面談やお電話の時間を設けさせていただいています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		子ども・保護者に寄り添った支援を今後も続けていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
説明等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	10		ご要望があった際には検討いたします。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	2		何か気になる事がありましたら、いつでも相談をお受けいたしますと伝えるようにしています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	2	こどもの写真が何をしたのかわかりやすいです。	引き続き、電話やLINE等を利用してながら情報伝達を行っています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	1		月に一回お便りや予定表を配布しております。また、Instagramを利用して日々の活動を発信しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		引き続き個人情報についての研修を定期的に行います。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	1		契約時に各種マニュアルがある事、研修を行っていることの説明を保護者へ行うようにしています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	4		年に二回避難訓練を実施しています。また、その日の様子もお便りに載せています。支援員は毎年救命救急の訓練を消防署で受けています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		安全確保が十分出来るように支援員を配置しています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	1	2		頭部を打った場合や事故、大けがの場合はすぐに電話を行い、伝える体制を整えています。また緊急性のない軽傷については送迎時に経緯と怪我の具合を説明する体制としています。自力のお子様の場合は保護者に連絡しています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		子どもが安心感を持てるように笑顔を手がけて支援員全員が関わるようにしています。子どもの好きな事を個々に把握し、職員と話をして楽しいと思える様心がけています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0		今後もお子さまが楽しめるプログラムを提供し、居心地のよい事業所であるよう努めてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	環境変化が苦手な息子の居場所になりました。感謝しています。	引き続き、皆様にご満足してご利用していただけるよう、子どもの支援に対して日々話し合いやPDCAサイクルの実施を行い、より適切な支援ができるよう努めます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	カルティボネクスト				公表日	2025年1月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題に対する改善 (公表用)	課題や改善すべき点 (公表用)	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	学習ルームとプレイルームで使い分けています。また、机が自由に動かせるのでプログラムに合わせて環境設定が出来ます。	特に無し。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準の配置を守りつつ、お子さまの状態に応じて、職員を配置しています。	特に無し。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	ホワイトボードを使用してその日の一日の流れを視覚支援も取り入れながら、伝えています。年齢に配慮してトイレが2室あります。	クールダウンで使っている部屋にお子さまがいる場合外に出てもらわないといけないうです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	プログラムやお子さまの活動に合わせて(おやつ・会話・学習等)環境設定を行っています。心が安らぐリラクスマジックもかけています。	特に無し。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じてスライドドアで仕切ることが出来る相談室を使用することが可能です。	特に無し。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	お子さまが来所する前にはミーティングを毎日行い、PDCAサイクルを元に話し合いができるようにしている。	特に無し。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年ミーティングにて話し合いと意見の把握を行い、業務改善に取り組んでいます。	特に無し。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日の昼礼時に意見を言ってもらっています。急ぎを要するときには療育終了後、すぐに意見交換をしています。	特に無し。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	第三者評価は行っていませんが、今後必要に応じて設置を検討していきます。	特に無し。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎日少しずつ勉強時間を設けています。声掛けのロールプレイを行っています。外部の研修を受講する機会があります。	社内研修時に発達支援に関することも取り入れていくとともに、昼礼時に職員のためになる話をしていきます。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	お子さま自身がプログラムを確認できるように、写真つきのカラー印刷のお手紙を毎月配布しています。	特に無し。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	6	0	利用日のお子様の様子を記録し、スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談(モニタリング)をしてから支援計画書を作成しています。	特に無し。
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	毎日の記録に個別支援計画に対する評価を追記しています。児発管はそれも参考にしながら目標が達成されているかの進捗を確認出来るようにしています。会議に参加出来なかった職員については別途聞き取りを行っています。	特に無し。
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	お子さま受け入れ開始前のミーティングでその日來所されるお子さまの支援計画を共有しています。職員がすぐに見れるように閲覧用もあります。	特に無し。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	型にはめずに個々の行動観察をしています。	特に無し。
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画については定型文を使用することなくその子にあった最も適切な支援計画を作成しています。実際に可能な具体的な支援方法にしています。	特に無し。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	週に一度プログラムの立案のためだけのミーティングの時間を設けています。	特に無し。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	年齢にあった流行をとり入れながら固定化しないように考えています。	特に無し。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題に対する改善 (公表用)	課題や改善すべき点 (公表用)
提供	19	5	0	お子さまの状況に合わせながら個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っています。また、発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っています。	特に無し。
	20	5	0	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	特に無し。
	21	4	0	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	当日は時間がなく次の日にしか出来ないです。
	22	5	0	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	特に無し。
	23	5	0	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	特に無し。
	24	5	0	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	特に無し。
	25	5	0	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	特に無し。
関係機関や保護者との連携	26	4	0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	特に無し。
	27	5	0	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	特に無し。
	28	1	3	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	現在は連携を行っていません。
	29	1	3	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	多感な年ごろであるため、地域で他のお子様と活動することが気になるお子様が多いので実現は難しいです。
	30	5	0	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	特に無し。
	31	1	3	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	特に無し。
	32	0	0	【児童事業所・児童センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	
	33	0	0	【児童事業所・児童センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	
	34	0	0	【児童センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	
	35	0	0	【児童センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	
36	0	0	【児童センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		
37	6	0	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	小学校から高校と学校の数が多く学校の情報を全て職員で把握することが難しい。	



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題に対する改善 (公表用)	課題や改善すべき点 (公表用)
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	小学校高学年からのため、カルティボキッズ(同法人事業所)から移行してきた場合は保護者さまの同意を得て、家庭の状況を含め全ての情報共有を行っています。	特に無し。
	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	現状移行されたお子さまがいません。今後移行することがある時はご要望に応じて情報提供いたします。	特に無し。
	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	自立支援協議会の資料に目を通しています。	特に無し。
保護者への説明等	41 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・見学时・契約時に丁寧な説明を行っております。 ・ご利用者の実費負担については毎月のお手紙で連絡しています。	特に無し。
	42 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・モニタリング時に必ず保護者さまの意見を伺うとともに、状況によりお子さまも参加してもらっています。 ・お子さまには職員と一緒に考えた「目標シート」に取り組んでもらい、小さな成功体験を積み重ねることができるよう工夫しています。	特に無し。
	43 「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	書いている内容をそのまま読むのではなく、お子さまの状況や支援方法をよりイメージしやすいように説明をさせていただいています。	特に無し。
	44 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的な面談はしていませんが、要望があったときは実施しています。また個別支援計画書更新時のモニタリングにて話を聞かせていただき、助言するようにしています。	定期的な面談は実施していません。
	45 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	来年度以降平日の午前等を利用して交流の場を作っていければと考えています。	実施出来ていません。
	46 こどもや保護者からの相談や苦情、申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	申し入れがあった際には迅速な対応ができるようにフローチャートを含め資料を掲示しています。	特に無し。
	47 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月カラーのお便りを発行しています。活動概要や行事予定、カレンダーでいつ何があるのか分かりやすい予定表をお渡ししています。 ・またInstagramを用い、活動内容をよりイメージできるように発信しています。	特に無し。
	48 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	職員は個人情報の取り扱いの研修を毎年うけており、個人情報の取り扱いは常に意識しています。	特に無し。
	49 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	電話とLINEを使い分けて情報の伝達を行っております。特に日程などはLINEにて文章に残してお伝えしています。療育中は視覚支援も多く使っています。	特に無し。
	50 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	機会があれば検討していきます。	個人情報の観点から現状は行っていません。
	51 【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者さまからの子育て悩みに対する相談へは適切に対応できるよう心がけており、助言した内容は職員と情報共有を行っています。今後も引き続き悩みに対する相談は細かな点でもきづけるように職員一同心がけていきます。	特に無し。
52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。また定期的な研修を実施し、変更点等あれば随時見直しを行っています。 ・保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えています。	家族等にお便りにて再認識していただきます。
	53 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPの研修と年間二回の避難訓練をおこなっております。また、コロナのような感染症が流行した時二備えて感染予防グッズも備蓄しています。消防署にて毎年救命救急の研修を受けています。	特に無し。
	54 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	てんかんの対応とてんかん発作のあるお子さまの名前を職員のみが見れる場所に常に表示しています。	特に無し。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題に対する改善 (公表用)	課題や改善すべき点 (公表用)
非常時等の対応	55	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・アレルギー者一覧表を作成し、おやつBOXと一緒に置いて間違いのないようにしています。 ・クッキング、イベント関係の際には個別に保護者さまに連絡を行い、対応するようにしています。	特に無し。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・常にドアは施錠しています。 ・療育中の来訪者はカメラで確認後対応しています。 ・外出やイベント時には細かく職員の動きを書いたスケジュールを使い確認しています。	特に無し。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	リスクが考えられる場面ではその都度保護者さまに説明を行い、対応方法について話し合いを行っています。	安全改革に基づく取り組み内容については保護者様等には積極的に周知できていません。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	何かあった時にはヒヤリハットを書いて職員に共有し再発防止につとめています。ヒヤリハット書く=悪いことというイメージを払拭する声掛けを行っています。	特に無し。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・月始めに虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を開催し、虐待や身体拘束の有無、それに連なる事項について話し合いを行っています。 ・全事業所合同で委員会を開催しており、情報の共有を行うとともに、意識を高めるようにしています。	特に無し。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束には当たらないが、安全を考慮するための行動の制止について同意書を作成し、保護者さまの了承を得ています。	特に無し。